

研究のために、あなたのカルテの情報を使用させて頂いております

◎対象となる患者さん:入院中に総合診療科より感染症科にコンサルテーションがあった方

1. 研究の題名『当院総合診療科から感染症科へのコンサルテーション理由と後方視的分析』

＜研究期間＞ 2019年4月1日～2025年3月31日

2. 利用目的 及び 利用方法

＜利用目的と方法＞

2019年の報告によると、本邦における感染症専門医数は1491名と人口10万人あたり1.2人であり米国の2.8人と比べて少ないのが現状です。そのため、本邦では、総合診療科医が急性期の感染症領域における入院診療を行うことが多いです。

しかし、このような背景がある中、当院では総合診療科から感染症科にコンサルテーションがある場合が多いですが、感染症科にコンサルテーションがあったことによる患者アウトカム等については明らかではありません。

そこで今回、コンサルテーションがあった患者背景、コンサルテーションの理由ならびに感染症科併診後の患者アウトカム等について後方視的に分析・検証することで、感染症科の設立やコンサルテーションサービスの開始といった本邦での感染症科の裾野を広げるための根拠となることが期待されます。

3. 以下の期間に上記(◎対象となる患者さん)を満たした方が対象です

＜対象期間＞ 2019年4月1日～2023年3月31日

4. 本研究で利用する試料・情報について

[患者背景]年齢、性別、入院病床(一般病床/救急病床)、背景疾患、コンサルテーション理由、初期診断、最終診断、コンサルテーションするまでに要した日数、初期診断、最終診断、原因微生物

[検査所見]血液培養から検出された菌種

5. 利用する者の範囲

取得した情報は、飯塚病院の下記研究代表者 及び 研究分担者において使用します。

6. 情報の管理の責任者について

この研究の責任者は以下の者です。研究の成果を学会や論文等で発表する際には名前等を番号や記号に置き換え個人が特定できない様に行います。また、この研究にあたり個人情報の漏洩等がないよう取得した情報等を管理し、患者さんに不利益がない様に責任を持ちます。

＜診療科名または部署名＞ 感染症科

＜研究代表者名＞ 長谷川雄一

7. 試料・情報の利用 及び 他の研究機関への提供の停止を希望する患者さんまたはそのご家族等の方へ

この研究にあなたの情報が使用されることを希望されない場合や疑問点などがありましたら、ご遠慮なく下記の連絡先までご連絡ください。お申し出頂いても、患者さんやご家族が不利益を被ることは一切ございませんので、どうぞご安心ください。また、この研究に関する計画書を、研究に支障のない範囲で閲覧することができます。その場合も下記連絡先までご連絡下さい。

＜連絡先＞ 株式会社麻生 飯塚病院 0948-22-3800(代表)

＜担当者＞ 長谷川 雄一